

監督 佐藤典弘
 コーチ 永沢 悟
 菊池道行
 投手 佐々木二葉 (6年)
 捕手 成田優智香 (6年)
 一塁手 安田 有沙 (6年)
 二塁手 永澤 出帆 (6年)
 三塁手 高橋 寧々 (6年)
 遊撃手 安田 咲夏 (6年)
 左翼手 高橋 瑞季 (5年)
 中堅手 成田あゆみ (6年)
 右翼手 安田 遥 (5年)
 中村 陽歩 (5年)
 安田千恵子 (5年)
 菊池 優希 (5年)
 安田 汐里 (5年)
 菊地 未祐 (5年)
 松山 知里 (5年)
 安田 彩乃 (5年)
 安田 来姫 (5年)



梅沢クラブ 勝利への軌跡

～わたしたちは決してあきらめない～

2つの県大会を制する

梅沢クラブ（梅沢小学校ソフトボール部）の活躍ぶりを紹介します。

昨年は、春の全国大会初出場、夏の東日本大会で準優勝と輝かしい成績を収めました。今年も昨年出場を果たせなかった夏の全国大会に初出場、そして初勝利を手にしました。

そこで今回は、梅沢クラブが全国大会に勝利するまでの軌跡をお伝えします。

まずは、全国大会出場を決めた県予選の結果をご覧ください。

・第24回全日小学生女子ソフトボール大会青森県予選会
 期日／平成22年5月29日（土）
 ～6月5日（土）

会場／東北町南総合運動公園

【2回戦】

梅沢クラブ14ー0板柳北クラブ

【準々決勝】

梅沢クラブ15ー3天間林東小学校

（七戸町）

【準決勝】

梅沢クラブ14ー5東北第一スポーツ少年団（東北町）

（藤崎町）

梅沢クラブ4ー1常盤SBC

（藤崎町）

梅沢クラブはこの大会で念願の初優勝を飾り、8月に行われた全国大会への切符を手に入れました。

また、全国大会が行われる前、県内スポーツ少年団ソフトボール

チームによる県大会が開催され、そこでも優勝し、今年も県内で無敵の強さを発揮しました。

・第22回全日青森県スポーツ少年団フェスティバルソフトボール
 期日／平成22年7月10日（土）
 ～7月11日（日）
 会場／つがる克雪ーム

【1回戦】

梅沢クラブ13ー4天間林西SB

少年団（七戸町）

【準決勝】

梅沢クラブ17ー3田舎館西スポーツ少年団（田舎館村）

（七戸町）

【決勝】

梅沢クラブ9ー5東北第一スポーツ少年団（東北町）

（七戸町）

このように2度の県大会優勝とう輝かしい戦績を経て、青森県代表として全国大会に臨むことになりました。それでも彼女たちには昨年成し得なかった「全国で勝つ」



・全国大会開会式での入場行進

・1回裏、同点のホームを踏む安田咲夏



というチームの大きな目標があったので、県大会優勝はあくまで通過点、チーム内におごりや高ぶりは決してありませんでした。

決してあきらめない

大会には、全国から48チームの精鋭たちが集まり、大会2連覇をしている長崎県代表「佐世保ひまわり」や大会5回の優勝を誇る京都府代表の「ホワイトビッキーズ」など強豪がひしめいていました。その中で梅沢クラブの選手たちは「最後まであきらめない」を合言葉に大会に臨み、見事全国大会初勝利を収めてくれました。

・第24回全日小学生女子ソフトボール大会
 期日／平成22年8月7日（土）
 ～8月10日（火）
 会場／岩手県花巻市石鳥谷ふれあい運動公園



①好守備で何度もピンチを救ったサードの高橋寧々
②6回の裏、チャンスを作れない選手たちに激を入れる佐藤典弘監督
③ピンチでもポーカークレイで淡々と投げる佐々木二葉
④7回裏2アウト、3塁ランナーに高橋寧々を置き9番安田遥がセンター前ヒットを放つ瞬間



【1回戦】開始午後1時47分

経田ブルーインクス（富山県）

101000002
100001x13

梅沢クラブ（青森県）

（投）佐々木二葉（捕）成田優智香

【試合報告】

初回表、1アウト後ピッチャーの四球から盗塁され2塁に、4番にライト前に運ばれ先制点を許す。その裏、2アウトから安田映夏がレフト前ヒットを放ちすかさず盗塁を決め、4番安田有沙がセンター前にタイムリーヒットで同点。3回表、2アウトから3番にライト前にヒットを打たれ盗塁で2塁に、またしても4番にレフトオーバールのタイムリー2塁打を浴びて1点リードを許す。梅沢クラブは2回以降ノーヒット。6回表、相手に連続ヒットを許しノーアウトで3塁方向へ転がすが、3塁の高橋寧々が猛然とタッチして3塁ベースへ送球しアウトでバント失敗、次打者もまたバントで3塁方向へ転がすが高橋寧々がまた上手く処理してバント失敗、このプレーでチームの大ピンチを救う。6回裏1アウトから中村陽彦が四球を選び、佐々木二葉がセンター前ヒットで続き、安田映夏の1塁ゴロの間に進塁してアウト2・3塁に、4番安田有沙のショートゴロを相手がエラーし同点となる。同点で迎えた7回裏、先頭の高橋寧々がヒットで出塁し、次の成田優智香が送りバントをしっかりと決め1アウト2塁に。次の高橋寧々の内野ゴロの間に高橋寧々は3塁へ、2アウト後、今までヒットのなかった安田遥が絶対球を見逃さずセンター前にクリーンヒット。高橋寧々がホームインしてサヨナラ勝ちを収めた。

翌日の行われた2回戦では、優勝候補「オールあきるの女子（東京都）」と戦い、力及ばず8-3のスコアで



敗れてしまいましたが、選手たちの表情は、勝利に向って最後まであきらめず頑張ったんだという充実感に満ちあふれていました。梅沢クラブの選手たちが、町の皆さんに、全国大会初勝利というとても大きなプレゼントをもたらしてくれたました。